

2013年9月26日

極薄<ガラスリボン>の新材料の開発に成功 ～ 熱膨張係数 $100 \times 10^{-7}/K$ の追加で用途開発を加速 ～

日本電気硝子株式会社(本社:滋賀県大津市 社長:有岡雅行)は、<ガラスリボン>の新材料の開発に成功しました。10月1日から開催される CEATEC JAPAN 2013(於、幕張メッセ)に出展いたします。

当社は、2009年に<ガラスリボン>の開発に成功、すでに一部の研究機関で「微小化学分析用マイクロチップ」の部材として採用が始まっています。今回新たにラインアップした新材料の<ガラスリボン>は、熱膨張係数が $100 \times 10^{-7}/K$ と従来品よりも高く、電気・電子製品の汎用部材であるステンレススチールやジルコニアセラミックス等との熱膨張の適合性に優れ、部品設計の自由度を大幅に高めることができます。

一方、<ガラスリボン>は、化学的安定性、耐熱性、光学特性、ガスバリア性、電気絶縁性など、ガラスの優れた材料特性を有するのみならず、

- ・ 樹脂フィルムのように曲げたり、巻いたりすることが可能
- ・ ガラス表面は無研磨にもかかわらず、非常に平滑
- ・ 両側面の端面部(両端)も表面同様に平滑で、曲げやねじりに強い

～等、<ガラスリボン>ならではのユニークな特長を備えています。

当社としては、これら<ガラスリボン>が本来持つ特長に加え、熱膨張における汎用部材との優れた適合性を最大限に活かし、ディスプレイ、センサー、医療、光学、照明など様々な製品分野に対し、積極的に用途開発を進めてまいります。

(製品の概要)

1. 熱膨張係数 $100 \times 10^{-7}/K$
2. 寸法仕様
厚さ 4～50 μm (マイクロメートル)
幅 0.5～20.0mm(ミリメートル)
長さ 最長100m(メートル)

(製品寸法については、個別にご相談させていただきます。)

以上

(製品写真)



(リリース内容に関するお問い合わせ先)

日本電気硝子株式会社

総務部 広報担当

電話：077-537-1702

(製品に関するお問い合わせ先)

電子部品事業本部営業部

電話：077-537-8767